



12月 ちとせだより

2022. 12. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

世界YMCA・YWCA合同祈禱週において、子どもたちは自分中心の祈りではなく、他者のために祈ることを経験しました。自分のことしか見えず、自己中心的な考え方になると、自分にとって都合が悪く、不利益なものや相手に対して、憎しみ、排除しようとしてしまいます。その規模が大きくなると紛争や戦争にもつながり、強いものが正しく、勝負に勝ったものが正当とされるケースさえあります。今までに幾度の戦争を経験し、世界平和の実現が常に求められ続けているにもかかわらず、未だに紛争や戦争はなくなりません。そのような状況の中で、毎年のようにクリスマスを迎えることの大切さを改めて感じることができます。

クリスマスは、神様が争いや憎しみにあふれた世界を救うために、その独り子イエス様をこの世にお遣わしなされたできごとです。暗く、寒い馬小屋にお生まれになったのも、明るく煌びやかな世界とは真逆に生きる、貧しく、力弱いものたちに向けた喜びと希望の光だったのです。そして、イエス様は生涯を通して愛することの大切さを私たちに示してくれました。この救い主によって示された生き方とメッセージは、2000年以上経った今も私たちに投げかけられています。争いや憎しみではなく、愛と喜びを分かち合えるような世界をどうしたら作っていいのか、ひとり一人は何ができるのか、私たちは考え続けなければなりません。

幼稚園でもアドヴェント（待降節・降臨節）に入り、クリスマスを迎える心の準備を行っていきます。イエス様がお生まれになったクリスマスの本当の意味を感じながら、自分のことだけを考えるのではなく、周りの人、そして世界中の仲間のことを思い、共に歩んでいくことができる人として成長していった欲しいと願っています。各ご家庭でも素晴らしいクリスマスを迎えられるよう心よりお祈りいたします。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。（詩編121編7～8節）

12月主題 「喜び合う」

聖句 「さあ、ベツレヘムへ行こう」（ルカによる福音書2章15節）